

【World Wetlands Day】

本日2月2日は世界湿地の日(World Wetlands Day)です。1971年2月2日にラムサール条約が締結されたことから、1996年に記念日として定められました。

ラムサール条約は正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、毎年世界湿地の日に合わせて各国で湿地の保全に関するイベントが行われています。

当館の自然系展示室では、水辺に生息する野鳥の剥製を複数展示しています。

#WorldWetlandsDay #WWD #世界湿地の日

■World Wetlands Day

<https://www.worldwetlandsday.org/>

■環境省 ラムサール条約と条約湿地 2月2日は「世界湿地の日」

<https://bit.ly/3Z6aPTx>



- ① カルガモ (*Anas zonorhyncha*)
- ② 左：マガモ (*Anas platyrhynchos*) / 右：オナガガモ (*Anas acuta*)
- ③ ダイサギ (*Ardea alba*)
- ④ カワウ (*Phalacrocorax carbo*)

【お知らせ】本学獣医学部獣医学科の教授が NHK「ダーウィンが来た！」に出演します

本学獣医学科の和田新平教授(水族医学研究室)と藤田道郎教授(獣医放射線学研究室)が、明日2月5日にNHK総合にて放送される「ダーウィンが来た！」に出演します。番組では巨大魚オオカミウオに密着し、和田教授と藤田教授がCT装置を使ってオオカミウオの口の謎に迫ります。ぜひ御覧ください！

番組名：ダーウィンが来た！「怪魚オオカミウオ 巨大な口で砕く！守る！」

放送日時：令和5年2月5日(日) 19時30分～20時00分

※放送後、以下サイトからもご覧いただけます。

■NHKプラス(無料)(放送開始～2月12日(日)19時30分まで)

<https://plus.nhk.jp/>

■NHK オンデマンド(有料)(2月6日(月)～2月19日(日)まで)

<https://www.nhk-ondemand.jp/#/0/>

★【資料紹介7】ユキヒョウ毛皮標本

<https://bit.ly/3WYt8YR>

和田教授には以前ユキヒョウの毛皮標本をご寄贈いただいています

【活動日誌119】学芸員課程受講生による実務実習―展示中―

2022年度の学芸員課程受講生4年生による展示がE棟エントランスホールで始まっています。この展示は学芸員課程受講生の実務実習の一環として実施しています。実務実習では、4年生が希望する展示のテーマごとに3班に分かれ、班ごとに教員の指導を受けながら展示開始に向けて作業を続けていました。

A班は昨年老朽化のため取り壊された本学の歴史的建造物「ヴォーリズ館」を展示のテーマとし、その歴史や構造の特徴を紹介しています。B班透明標本チームはイノシシとメダカの透明標本を作成し、標本の作り方をまとめたパネルとともに実物を展示しています。C班骨格標本チームはツキノワグマの骨格標本を作成し、ツキノワグマとヒグマの違いを紹介するパネルとともに展示をしています。

学芸員課程受講生による展示は今年度で4回目となりました。今回は9名という少ない人数でしたが、それぞれに展示の作成に向けて作業を進め、無事に展示まで辿り着くことができました。E棟にお越しの際は、ぜひ学生たちによる展示をご覧ください。

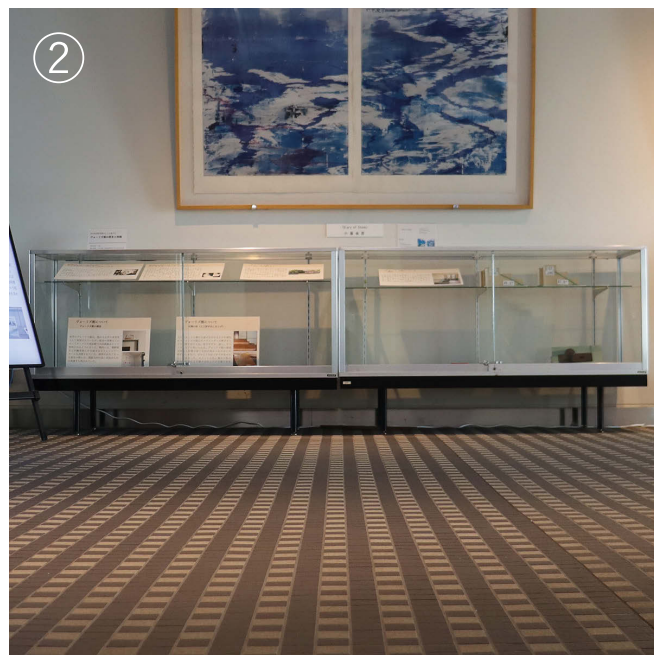
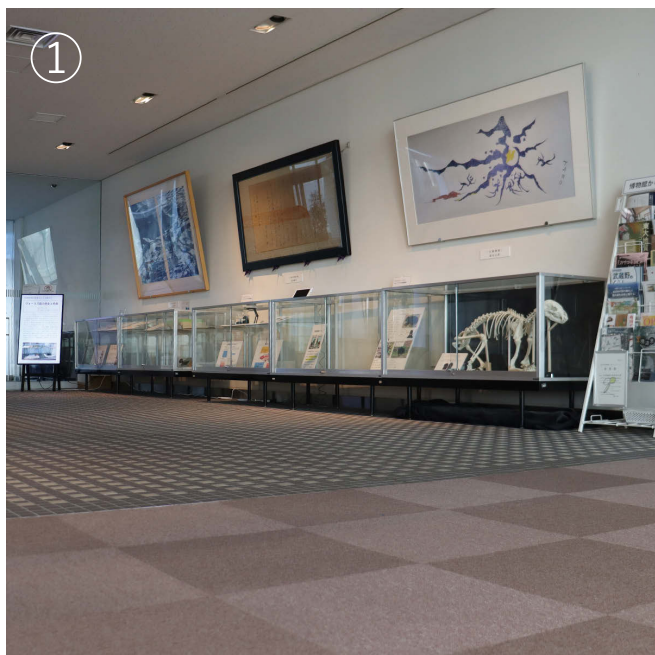
(学芸員 石井)

■【活動日誌107】学芸員課程実務実習―展示作成に向けたレクチャー

<https://bit.ly/3QQxaiU>

この展示作成に向けてのレクチャーの様子を紹介しています。

2023年2月9日の記事



- ① E棟エントランスホールの学芸員課程受講生による展示全体。
- ② A班の展示：ヴォーリズ館の歴史と特徴
- ③ B班透明標本チームの展示：イノシシとメダカの透明標本
- ④ B班骨格標本チームの展示：ツキノワグマの骨格標本

【International Darwin Day】

2月12日は国際ダーウィンデー(International Darwin Day)です。進化論で有名なチャールズ・ダーウィンが1809年2月12日に生誕したことを記念して、科学全般を促進させるための日として定められています。

日本ではあまり有名ではありませんが、世界的にはかなり認知度の高い国際デーで、世界中の大学や博物館などでダーウィンデーを記念して様々なイベントが開催されています。

当館は、20世紀初頭に出版されたダーウィンの著作物を3冊所有していますが、そのうちの「種の起源」として日本でもよく知られる1冊をご紹介します。

#InternationalDarwinDay

〈資料詳細情報〉

[名称]THE ORIGIN OF SPECIES -BY MEANS OF NATURAL SELECTION-

[著者]Charles Darwin

[製作年]1909年

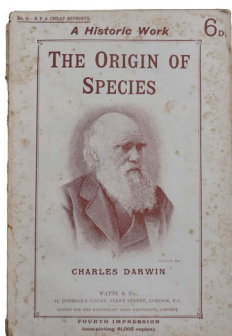
[出版社]WATTS & Co.,

[サイズ]217×149×9(縦×横×厚さmm)

■International Darwin Dayのサイトでは世界中で開催されるダーウィンデーを記念したイベントが紹介されています。

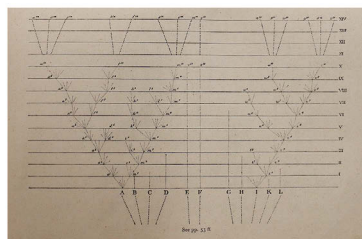
<https://darwinday.org/events/>

①



日本獣医生命科学大学
付属ワイルドライフ・ミュージアム

②



日本獣医生命科学大学
付属ワイルドライフ・ミュージアム

① THE ORIGIN OF SPECIES の表紙

② THE ORIGIN OF SPECIES に掲載されている系統樹の図

【活動日誌120】本学法人による取材に対応しました

日本医科大学、日本獣医生命科学大学は、令和4年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティイニシアティブ(女性リーダー育成型)」に採択されました。女性研究者の上位職登用、女性・若手研究者の育成などを目指し、様々な事業を進めてるものです。この事業を紹介する動画を作成するための取材に当館が対応しました。

取材当日は、スタッフによる展示解説の様子や、新たに発見された掛図をスタッフが整理する様子が撮影されました。活動紹介の動画は、4月頃に、ダイバーシティ事業ウェブサイト「One Health」にて公開される予定です。

(学芸員 石井)

■ダイバーシティ事業ウェブサイト「One Health」

<https://one-health.jp/>

ダイバーシティ事業の詳細はこちらをご覧ください



① 剥製の解説を行うスタッフ。

② 掛図の記録写真を撮影し、1点ずつ仮番号をつける様子。掛図の詳細はこちらの記事で紹介しています。 <https://bit.ly/3GaAm7d>

【お知らせ】オープンキャンパスを開催します

2023年3月18日に本学のオープンキャンパスを実施します。オープンキャンパス当日は高校生、既卒生、中学生およびその保護者を対象に、各学科の説明会や体験講義、個別相談会が開催されます。

当館もオープンキャンパスに合わせて特別開館いたします。通常は当館の見学には事前の予約が必要ですが、オープンキャンパスに参加された方であればどなたでも自由に見学することが出来ます。

オープンキャンパスの参加には事前の申込みが必要です。2月20日7:30から申込みの受付が始まりますので、興味のある方はぜひお申し込みください。

〈オープンキャンパス来校型イベント 附属博物館自由見学〉

受付場所：1号棟1階

実施場所：附属ワイルドライフ・ミュージアム(1号棟)

見学可能時間：10:00～15:00(14:30最終受付)

※オープンキャンパス(事前申込制)に参加された方のみ見学が可能です

※一度に展示室に入室できる人数を制限しているため、見学までにお時間をいただく場合があります

■オープンキャンパス(全学科)3.18(土)※事前予約制

<https://bit.ly/3kzunAB>

オープンキャンパスの詳細や申込みについてはこちらのページをご参照ください

【研究紹介】共同研究で野鳥の肺から世界で初めて マイクロプラスチックを検出

本学と早稲田大学、株式会社パーキンエルマージャパンらの共同研究により、野鳥の肺から大気中のマイクロプラスチックを検出することに世界で初めて成功しました。

マイクロプラスチックは、ヒトを含む様々な動物種で検出されていて、大気中のマイクロプラスチックを吸引していることがわかっています。鳥類は哺乳類よりも呼吸が効率的であるため、大気汚染の影響を受けやすいはずですが、マイクロプラスチックを野鳥が吸入しているか、それが体内に蓄積されているかについてはほとんどわかっていませんでした。

今回の研究では、大気中のマイクロプラスチックが野鳥の肺に吸入・蓄積されるかどうかを明らかにするために、国内で有害鳥獣対策のために捕獲されたキジバトやツバメなどの肺の分析を行いました。その結果、一部の野鳥では呼吸によって大気中のマイクロプラスチックが肺に蓄積することがわかりました。

今回の論文は科学雑誌「Chemosphere」のvol.321に掲載されました。発表された論文(英文)の要約と一部の図表は、以下のリンクよりご覧いただけます。

<https://doi.org/10.1016/j.chemosphere.2023.138032>

《論文執筆に携わった羽山館長より一言》

野生動物学研究室では、約30年前に東京湾に生息する野鳥の胃内容から大量のレジンペレット(プラスチック原料の小片)を検出しています(公表論文は下記のサイト)。

<https://doi.org/10.3838/jjo.42.83>

当時は、プラスチックがミクロンやナノのサイズまで微細化し、動物の体内に吸収されることは思いつきませんでした。今後は、体内に吸収されたマイクロプラスチックの健康影響について研究を進めていきたいと考えています。

■日本の研究グループがハトやツバメの肺からマイクロプラ検出、野鳥の肺からは世界初

<https://bit.ly/3IUUCT6T>

2月15日(水) 12:57 配信のYahoo! ニュースにて、本研究の日本語解説が掲載されています

【活動日誌121】古書の整理を行っています

当館では本学付属図書館との連携を強化しており、これまでに本学の関係者の著書や本学の歴史にかかわる本、獣医学の専門書など、図書館から117冊の書籍を移管しています。今回は図書館との新たな連携の一環として、図書館で保管している書籍の中で、データベースに登録されていない古書についての情報を調査することとなりました。これらの古書に関しては図書館にも詳細な情報が残っておらず、博物館でもその全貌は把握出来ていませんでした。そこで、これらの古書のリスト化作業を、古書の収集と研究を行われている本学獣医保健看護学科病態病理学研究分野の先生方と協力して行うことになりました。

先日は、古書が収められた段ボール箱を開けて対象となる書籍の冊数を把握し、それぞれの状態をチェックする作業を行いました。段ボール箱の中には合計44冊の書籍が入っていました。各書籍の詳細はまだ不明ですが、本学の前身校である日本高等獣医学校や日本獣医畜産専門学校の印が押された書籍や、陸軍獣医学校に関連した書籍など、貴重な資料が多数含まれているようです。

長年倉庫に保管されていた書籍にはカビや虫が付いている可能性があるため、詳細な調査は書籍の脱酸素処理(カビや虫の発生を抑えるための処理)が終了してから行います。最終的にはこれらの古書も図書館から博物館に移管し、研究や展示に役立てたいと考えています。

(学芸員 石井)

■【活動日誌20】図書館所蔵書籍の移管

<https://bit.ly/414o2gW>

図書館からの書籍の移管についてはこちらの記事で詳しく紹介しています

2023年2月25日の記事



- ① 机に並べられた古書
- ② 古書の例①: 写真には写っていませんが、書籍の中には本学の前身校である日本高等獣医学校や日本獣医畜産専門学校の印が押されていました。
- ③ 古書の例②: 段ボール箱の中には陸軍獣医学校に関連した書籍が複数冊収められていました。